

マニー・ペニー先生の

仕事に生きる 女性の教科書

ミセス・マニーペニー/
ヘザー・マクレガー 著

Mrs Moneypenny's Careers Advice for
Ambitious Women

まえがき

あなたが15歳の高校生でも51歳でも、とにかく飛躍したい願望があるなら、この本はあなたにぴったりでです。

とにかく、仕事において今よりもう一步前進したいと考えていることが重要です。もし他の人のように、人生という名の海で、海底をよろよろと泳いで満足しているのなら、推理小説でも読んでいればいいと思います。でも、もし順調にステップアップして、ゆくゆくは経営陣として仕事をしたいとまで考えている女性なら……。海面から顔を出して空気を吸い、一気に飛び出したとまで考えているなら……。ぜひこの本を買って読んでみてください。

そして、あなたのような女性にこの本をぜひ渡してあげてください。

本書では、女性が成功を手にするために重要な10のポイントを解説しています。どれも、私が15歳か25歳、せめて35歳のときに知っていたらよかったと思うことばかり。私がこれまでの人生で手に入れたものはいろいろありますが、もしこのポイントすべてを人生の早い時点で知っていたら、もっとたくさんのもので得ることができていたと思います。

私がこのポイントをどうやって知ったかというと、「観察」と「経験」からです。

「観察」することは強力なツールになります。特に、観察しながらさらに質問もできる時にはね。私は仕事で、年に何百人もの女性に会います。皆さん、さまざまなキャリアステージにいる方々です。私が関心を持つのは、やる気に満ちている女性や、すでに成功をつかんでいる女性た

MRS MONEYPENNY'S CAREERS ADVICE FOR AMBITIOUS WOMEN
by Mrs Moneypenny with Heather McGregor
COPYRIGHT © HEATHER MCGREGOR, 2012
ALL RIGHTS RESERVED

THE MORAL RIGHTS OF THE AUTHOR HAVE BEEN ASSERTED.
FIRST PUBLISHED IN GREAT BRITAIN IN THE ENGLISH LANGUAGE BY PENGUIN BOOKS LTD.

JAPANESE TRANSLATION RIGHTS ARRANGED WITH PENGUIN BOOKS LTD., LONDON
THROUGH TUTTLE-MORI AGENCY, INC., TOKYO

ち。そうした方々に会うとき、私は「スポンジ」になります。

朝は何を思いながら起きたんだろう？

どういうふうに人生設計しているのだろうか？

こんな高い目標を達成した彼女には、誰の、どんなサポートがあったんだろう？

その人に直接質問できない場合は、よく見て、調べて、その人の知り合いに質問してみます。

インドラ・ノイーはどうやってペプシコ社のCEOになったのか？

ジャンネット・ロビンソンはどうしてニューヨーク・タイムズ社を経営することになったのか？

フィオナ・レイノルズはどうしてイギリスのナショナル・トラストの理事長を務めることにな

ったのか？ ナショナル・トラストといえば、英国海岸の700マイル以上もの地域を管理する

ボランティア5万5000人を抱えた組織ですよ。

それに、まだお目にかかったことはないけれど、オーストラリアの大企業の1つであるウエス

トバック銀行CEOのゲイル・ケリー。彼女についての記事は全部読むようにしています。

それから、「観察」の他に「経験」も重要でした。私は長い間会社を経営しているので、どう

すればビジネスに役立つか、また反対にビジネスの妨げになるのかがわかります。私はフィナン

シャル・タイムズ紙に毎週コラムを連載しています。何がビジネスに役立つか、世界各国の女性

読者たちから意見が寄せられます。最近では、イギリスのテレビ番組に出演して、メディアの世

界で活躍するたくさんの女性に会うことができました。こうした女性たちのキャリアには、共通

するテーマがあります。

本書は、企業の経営に関わりたいという女性だけを想定して書いたものではありません。会社をおこしたいという人もいれば、学者として活躍したいという人もいるし、非営利団体の代表になることが自分にとっての目標だという女性もいるでしょう。出産して子育てに専念した後、仕事に戻れることがうれしいという人もいます。

読者の皆さんは学生さんでしょうか、それともキャリアという階段を上っている最中でしょうか。はたまたすでに退職した後で、今から新たにチャレンジするなんてもう遅すぎると思っ

てでしょうか。どんな方でも、ぜひこの本を読んでみてください。人生において、「この時だけは誰かのサポートが必要」などということはありません。何歳であっても、どのキャリアステージにおいても、的確なアイデアを持つて的確なものに焦点を当て、的確なアドバイスを受けければ、女性はずっとうまく生きていけるはずなんです。

この本が、皆さんの人生のお役に立てることを祈っています。

さて、どうして「女性のための本」なんでしょう？ 男性だって、出世するために頼りになるものが必要なはず。

なぜかというと、女性は男性と違うからです。だって、私たちには子宮がありますから。当然のことだと思っでしょう？ でも働くとなると、これが重要な意味を持つことになるのです。女性は子どもを産む人が多いし、そうなる仕事を休まなくてはいけなくなり、子育てのためにフレキシブルな働き方をする必要性が生じます。このとき世の中の経営者たちは、女性の従業員を（私たち女性を）男性の従業員と異なるものとして見る傾向があるのです。

人に雇われる気はないですか？ では、起業してみるのはどうですか？

会社設立の資金集めには銀行や投資家や仕入れ先の協力が必要になります。こうした人たちも、女性を男性とは違う目で見るとしようね。

たとえばあなたが子どもを作る予定がなくても（または週末に出産して、週明けの月曜日には入社するつもりでも）、あなたに対する雇用主の目は、子どもが生まれて育児休暇をとった女性のスタッフがこれまでいた経験があるかないかで多少なりとも左右されると思います。女性のキャリアが出産によって影響を受けることについては、どうしようもないように思います。少なくとも私が生きている間は、遺伝子工学が発達して男性が子宮を持つなんてことはないんじゃないでしょうか（というより、男性には子宮を持つてほしくありませんね。子どもを産んで育てるなんて、すばらしい経験ですから）。でもとにかく、この女性ならではの問題に立ち向かっていくために、とるべき手段はいろいろあるのです。

エグゼクティブ向けヘッドハンティング企業であるMBSグループのCEOを務めるモイラ・ベニグソンは、管理職につく女性たちが、仕事はうまくこなしているにもかかわらず、男性と同じように政治ゲームができていないことにいつも驚いているそうです。

私は25年間、ヘッドハンターとしての仕事の中で、女性が男性のように先を見越して行動することができないために、自分を磨けず出世できないのを見てきました。失敗しそうだと思うと、女性たちは飛躍を恐れ、上を目指すことなく、自分の能力よりずっと下のレベルに甘んじ

てしまいがちです。リーダーシップの専門家のレベッカ・シャンボーが言うように、「ガラスの天井」（女性やマイノリティに対する出世の障壁）が問題だとは限りません。「べたつく床」（入社した地位が上げられないこと）が問題かもしれないのです。

この「べたつく床」は広い範囲に及んでいます。アクセシチュア社が世界中の3400人の経営幹部を対象に行った2011年の調査によると、「会社で昇進するためには大変な時間と労力が必要だ」と68パーセントの女性が感じていることがわかりました。

でもね、ただ長時間バリバリ働けばいいだけなら、もっとたくさんの女性がリーダーのポジションについているでしょう。ステップアップするためには、女性は男性がやっていることを全部こなして、それからさらにプラスアルファのこともしないとイケないんです。

女性がやらなくてはイケないこととは何か、それをどうやってやるべきかを、本書でお伝えします。

次の3人の女性たちは、この本を書くにあたって、私を強力にサポートしてくれました。

ジェーン・ラノン。教頭先生であるジェーンの学生たちに対する熱意のおかげで、私は学校で講演をすることになりました。そこで生徒たちが私に質問してくれたことが、この本のもとになっています。

ヘレン・コンフォード。編集者であるヘレンの出版に対する熱意のおかげで、私は執筆依頼をいただき、この本を書くことができました。

そして、スーザン・レオン。レコードレーベルの管理職を務める彼女のクライアントに対する熱意のおかげで、私はヘレンに会うことができました。そのおかげで何百人もの、仕事に生きる女性たちの自信につながるようになったのです。

みんなありがとう。

この本をジェーン、ヘレン、スーザンの3人にささげます。

目次

まえがき 3

CHAPTER 1 資格があなたの強みになる

自信をつけるために資格を利用する	22
自分の能力を証明するために資格を利用する	26
人脈作りのために資格を利用する	35
資格に加えて、経験も積む	41

仕事に生きる
女性への宿題

持っている資格、とりたい資格について考えよう
大卒以上（MBA、大学院など）を目指すには

2 人脈があなたの力になる

人脈作りのためのフィルタ 55

人脈作りのポイント 57

人脈の重要性 59

仲間たちにコンスタントに連絡をとろう 60

仲間たちみんなを大事にしよう 62

ロールモデルを見つけよう 66

キャリアへの投資としての人脈作り 69

仕事に生きる

今のネットワークのままで大丈夫？

女性への宿題

イベントを開いてみる

人脈の広げ方

3 今からでもまだ遅くない

他の人から刺激を受けるのに、早いも遅いもない 79

年齢を言い訳にしない 83

今からでも「無責任」になってみよう 86

女性ホルモンに振り回されなくなったことを楽しもう 91

本気で打ち込めることを今から探そう 94

定年退職が新しいドアを開く 96

方向転換するのに適齢期なんてない 99

仕事に生きる

10年後の自分

女性への宿題

今のままでいいの？

定年退職後にやりたいことは

4 ただ「ノー」と言おう

「ノー」と言うべきものにノーと言おう 109

あなたの優先事項は何ですか？ 113

エネルギーを蓄えておくために「ノー」と言おう 114

時に、「ノー」には痛みを伴う 117

性的なお誘いに「ノー」と言おう

121

「ノー」の正しい言い方

125

ビジネスの場面でも「ノー」と言おう

126

仕事に生きる

「ノー」と言うためのトレーニング法

女性への宿題

優先事項をリストにする

ワーキングマザーの処世術

129

CHAPTER

5 すべてを完璧にはこなせない……

「スーパーウーマン」になろうとした人の現実

135

自分にとって何がいちばん大事なのかを決めよう

138

すべてを完璧にこなそうとすることで生じる問題

140

間違ったシグナルを出してしまわないように注意！／「母親」であることの影響力／
非現実的な期待は抱かない／パートナーのキャリアに影響される場合／
家族より仕事を優先させることへの罪悪感／自分が選んだ道なのに、言い訳してしまう

仕事に生きる

優先事項をリスト化する

女性への宿題

優先事項と時間配分

ワーキングマザーの罪悪感

161

CHAPTER

6 ……それでも全部頑張りたい

「女性はこうするべき」という社会の目

171

女性は不平等な扱いをされることがある

夫が家事を引き受けてくれる場合の問題

174

「スーパーママ」のプレッシャーをはねのける

183

家事のアウトソーシングを活用する／子育て・家事代行サービスに依頼する／
手際よく時間を有効に使う／家族と仕事と家の用事を同時にうまくやりくりする／
一休みして、サポートチームに頼ろう

仕事に生きる

自分の時間を作るために、アウトソーシングを頼む

女性への宿題

リストを作って整理する

エネルギーを蓄えておく

195

CHAPTER

7 お金に関する知識

家計のことを理解しよう

201

トップリーダーたちの会話を理解しよう

209

財務はトップへの近道

211

仕事に生きる
女性への宿題

家計管理の表を作成する
家計の目標額を定める
トップリーダーの会話を理解する

8 「職場」と「家庭」以外の場所

「職場」と「家庭」以外に活動の場を持つことの強み 229

「第3の場所」の探し方 232

「一般常識は知っておこう」／「第3の場所」を決めるためのチェックリスト

仕事に生きる
女性への宿題

「第3の場所」の探し方

すでに関わっている「第3の場所」について見直す

「第3の場所」を次の仕事にする

9 自分PRをする

インターネットをうまく利用する 242

Googleアラート

自分についてのメッセージを最も強力に発信してくれるのは、自分自身
ステップアップするための服装／ステップアップするための髪形／身だしなみに気を配る 244

影響力のある人に自己PRしよう 251

自分をオビニオンリーダーとして演出する／職場で上手に自分をPRする／
自分の業績を定期的に報告する／レッテルを貼られる女性たち

仕事に生きる
女性への宿題

履歴書について、書くべきことと書いてはいけないこと

10 自分1人ではできないこともある

あなたのサポートチームはいますか？ 265

職場でサポートチームを作るには 267

出会った人すべてを、自分に貢献してくれる人と思わず／適材適所／
常に感謝の気持ちを伝える／気さくな態度をとり、励ましてやる気にさせる／
得手不得手を知る／チーム全体の効率性を最大限に高める

家事についてのサポートチームを作るには 276

まわりのサポートに感謝し、それに報いる／優先事項をまわりに伝える／
「完璧でないこと」を良しとする／他の親御さんや親戚にもサポートを求める／
先を見越して、他の人のために手助けする

仕事に生きる
女性への宿題

チームで仕事をするには
プロジェクトに参加する
他の人に仕事を割り振る

あとがき 285

謝辞 286